

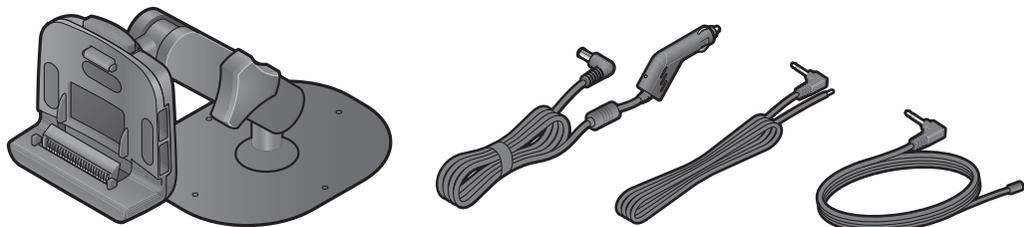
Panasonic®

取付説明書

のせかえキット

品番：**CA-FK020D**

適合機種：CN-MP200DL
CN-MP100DL
CN-MP200D
CN-MP100D
(2009年5月現在)



取り付け・配線の前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

販売店様へのお願い

- 本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

お客様へのお願い

- 本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

| | | | | | |
|--------|---------|---|---|----|-----------|
| お買い上げ日 | 年 | 月 | 日 | 品番 | CA-FK020D |
| 販売店名 | ☎ () - | | | | |

パナソニック株式会社 オートモーティブシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町 4261 番地

お客様相談センター

- フリーダイヤル ☎ 0120-50-8729
受付 9:00 ~ 17:00/365日
- ナビダイヤル* ☎ 0570-09-1265 (携帯電話など)
- F A X* ☎ 045-938-1573
受付 9:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・当社休日を除く)

* ご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

| 番号 | 品名 | 数量 | 番号 | 品名 | 数量 |
|----|---|----|--------------|--|----|
| ① |  車載用スタンド | 1 | ⑧ |  コードレール (50 mm) | 4 |
| ② |  シガーライターコード (2 m) | 1 | ⑨ |  タッピンねじ (φ 4 × 12 mm) | 4 |
| ③ |  サイドブレーキコード* (2 m) | 1 | ⑩ |  クッション材 | 2 |
| ④ |  圧着式コネクター | 1 | ⑪ |  クリーナー | 1 |
| ⑤ |  コードクランパー (サイドブレーキコード用) | 2 | 主な添付品 | | |
| ⑥ |  FM-VICS用アンテナ (1.8 m) | 1 | 取付説明書 (本書) | | 1 |
| ⑦ |  コードクランパー (FM-VICSアンテナ用) | 4 | | | |

※ 本書では、「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」「パーキングブレーキ」などのことを、「サイドブレーキ」と呼称し、表記しています。

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

仕様

| | |
|---------------------|------------------------------|
| 車載用スタンド | |
| 電 源 | 5 V(付属のシガーライターコード接続時) |
| 質 量 | 208 g |
| シガーライターコード | |
| 使用電源 | DC12 V(10.8 V~ 16 V) マイナスアース |
| ヒューズ | 5 A |
| 長 さ | 2 m |
| FM-VICS用アンテナ | |
| 出力インピーダンス | 75 Ω |
| 長 さ | 1.8 m |
| サイドブレーキコード | |
| 長 さ | 2 m |

本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | |
|--|----------------------------------|
|  警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
|  注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

警告

 **DC12 V ⊖アース車で使用する**
本機は DC12 V ⊖ アース車専用です。
DC24 V 車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。
火災や故障の原因になります。

 **指定に従って配線・取り付けをする**
説明書に従って正しく配線し、確実に取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

 **運転や視界を妨げたり・同乗者に危険をおよぼす場所には、絶対に取り付けない**
運転に支障をきたす場所（シフトレバー、ブレーキペダル付近など）、前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

 **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない**
エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

 **取り付け・配線に保安部品を絶対に使わない**
車の保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。

 **コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す**
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

 **車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける**
車体に穴を開けて取り付ける場合には、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

 **取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる**
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

 **ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない**
あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

 **シガーライターコードのプラグは確実に差し込む**
シガーライターコードのプラグは、奥まで確実に差し込んでください。
挿入が不完全ですと、発熱し、火災などの原因になります。

 **シガーライター電源から複数の電源をとらない**
シガーライター電源または、アクセサリ用電源のソケットに複数の機器を接続すると、車両の定格を越えることがあり、火災や故障、車両側ヒューズの断線などの原因になります。

 **本機の分解・修理、および改造をしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのとは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

分解禁止

 **ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しはしない**
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

| | |
|---|------------------|
|  | してはいけない内容です。 |
|  | 実行しなければならない内容です。 |

注意

 **配線・取り付け / 取りはずしは、専門技術者に依頼する**
配線・取り付け / 取りはずしには、専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

 **必ず付属品や指定の部品を使用する**
指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

 **振動の多いところや不安定な場所に取り付けない**
傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

 **高温になる場所などに取り付けない**
ヒーターの熱風などが直接あたると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

 **はずれたり・落下しないようにしっかり取り付ける**
取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。
再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。
ときどき接着や取り付けの状態（ねじがゆるんでいないかなど）を点検してください。

- 特にスタンドは、テープだけでは強い保持力が得られません。必ず、指定の車載用スタンドを使用し、付属のタッピンねじで、しっかりと固定してください。
- 車内で使用するときは、本体を確実にスタンドに取り付けてください。

 **ナビゲーション本体を車載用スタンドへ確実に取り付ける**
車載用スタンドにナビゲーション本体を取り付けるときは、しっかりとめ合わせられた状態で固定されていることを確認してください。
取り付けが不十分な場合、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。

 **水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない**
雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

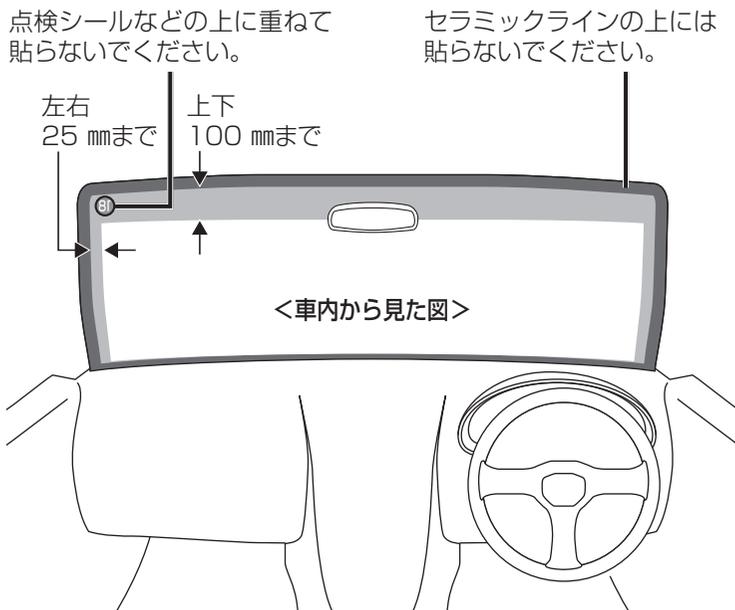
 **コードを破損しない**
傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

FM-VICS用アンテナの取り付け位置

国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンテナは、取付許容範囲内（■部）に貼り付けてください。

※道路運送車両の保安基準 第29条 第4項 第7号 に対する、平成11年12月27日付の運輸省（当時）告示第820号



車載用スタンドの取り付け位置

国土交通省の定める保安基準*の改正（平成17年1月1日）に伴い、下記の範囲内の視界を確保することが義務付けられました。

ダッシュボード上に機器（オンダッシュモニター、ポータブルカーナビゲーションなど）を取り付ける際は、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

* 道路運送車両の保安基準 第21条 運転席 細目告示 第27条の一 別添 29 「直接前方視界の技術基準」

前方視界基準

対象車種

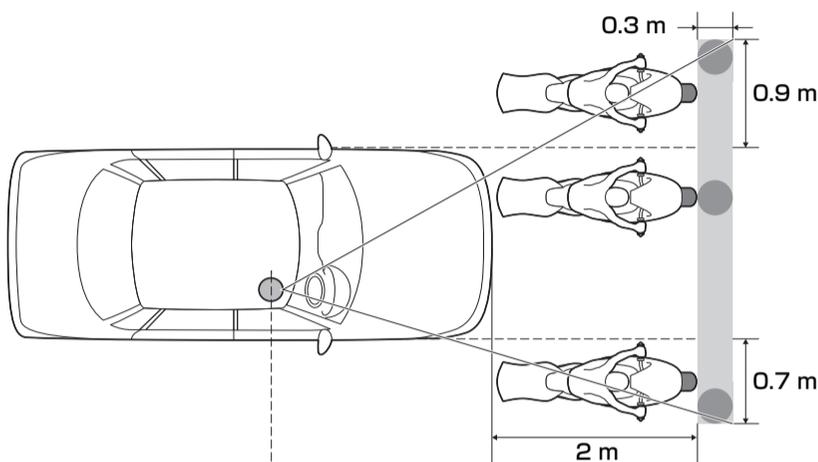
- ① 専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く）
- ② 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

基準概要

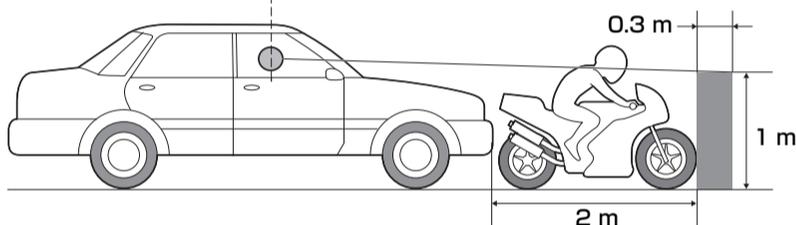
自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。

● 図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

上面図



側面図



■ 指定のスタンドを使用し、はずれたり落下しないように、しっかり取り付けて安定させてください。

■ 下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。落下する原因になります。

| | | | |
|------------------------|--------------------------|------------|-----------------------------|
| 貼付面全体が密着しないような強い曲面 | 約30°以上傾いた場所（推奨15°以下） | 不安定な場所 | 垂直な面（スタンドの破損に至る場合もあります） |
|------------------------|--------------------------|------------|-----------------------------|

取付角度について

ナビゲーションは、ジャイロと加速度センサーを内蔵しています。自車位置を正しく表示させるために、必ず下記の範囲内で取り付けてください。

● できるだけ水平な場所に停車させ、取付角度を測ってください。

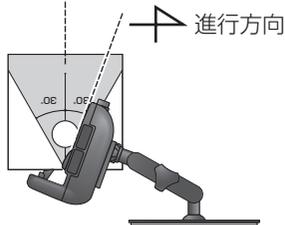
| 側面図 | 上面図 | 正面図 |
|-----|-----|-----------------|
| | | <p>できるだけ水平に</p> |

取付角度ゲージ

側面図

クレードルの端が■部からはみ出さないように

できるだけ鉛直に

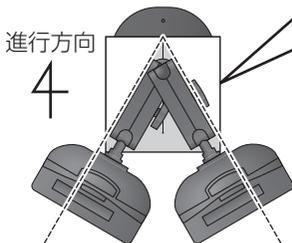


上面図

アームの端が■部からはみ出さないように

進行方向

4



アームの支柱に、はさんでください。



車の進行方向に合わせる。

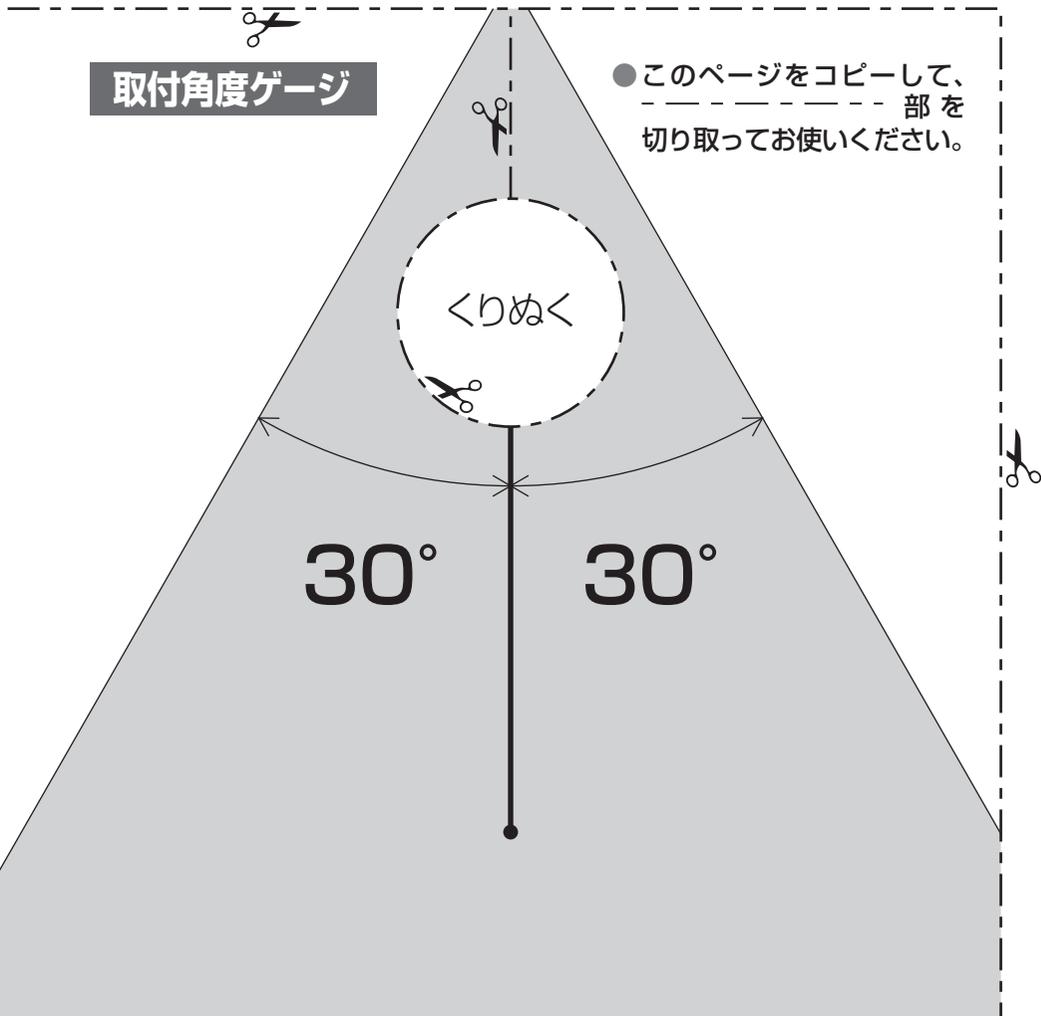
取付角度ゲージ

- このページをコピーして、部を切り取ってお使いください。

くりぬく

30°

30°



車載用スタンドを取り付ける

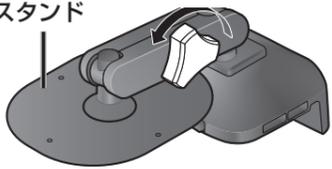
取り付ける前に

別売のナビゲーションをスタンドに仮止めし、取り付け位置を確認してください。貼りなおすと粘着力が弱くなります。

- 付属のクリーナーで、設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

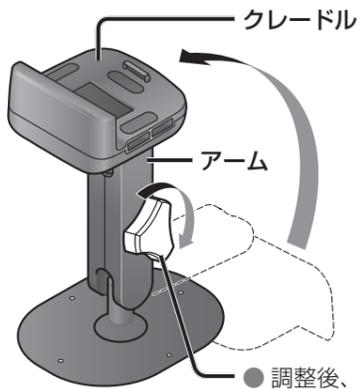
1 ロックをゆるめる。

① 車載用スタンド



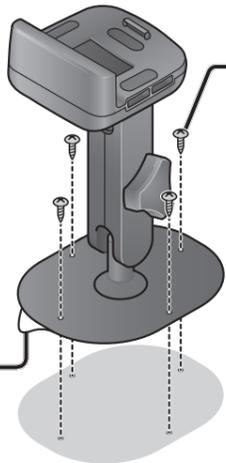
- 角度を変えるときに引っかかりがある場合は、引っかかりがなくなるまでゆるめてください。

2 アームとクレードルを、下図の状態にする。



- 調整後、ロックを軽く締めてください。

3 ダッシュボードに貼り付けて、タッピンねじで固定する。

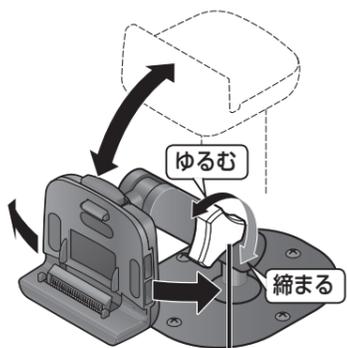


- タッピンねじ (4カ所)
- 安全のため、付属のねじで固定してください。(ダッシュボードに穴が開くことをご了承ください。)

- 設置面(ダッシュボード)の形状に合わせて、スタンドを強く押し付けてなじませ、確実に密着させてください。
- 固定力を強くするため、ナビゲーションを取り付けずに24時間以上放置してください。

裏紙をはがす

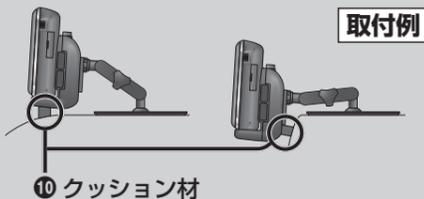
4 ロックをゆるめて、アームとクレードルを調整する。



- 調整後、ロックをしっかり締めてください。
- ロックを締めたあと、アームとクレードルにぐらつきがないか確認してください。もしぐらつきようなら、ぐらつきがなくなるまで締めてください。
- 締め付けが弱いと、走行中の振動でゆるみ、アームとクレードルの角度が変わるおそれがあります。
- ときどき、ねじやロックがゆるんでいないかを確認してください。

■ダッシュボードに車載用スタンドが近接するときは

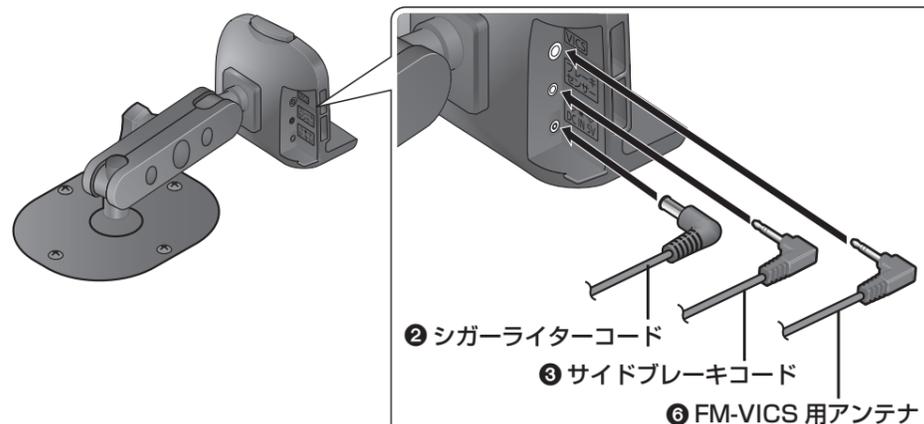
- 振動でノイズが発生する原因になります。クッション材を貼り付けて、安定させてください。



取付例

10 クッション材

車載用スタンドに各コードを接続する



- シガーライターコード
- サイドブレーキコード
- FM-VICS用アンテナ

FM-VICS用アンテナを取り付ける

取り付ける前に

設置面の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。

お願い

- FM-VICS用アンテナは、ケーブル全体がアンテナです。受信状態を良くするため、下記の点に留意してください。
- ダッシュボード上での引き回しを短くして、できるだけアンテナの先端が高い位置になるようにしてください。
- 他のコードとは束ねず、離してください。
- クランパーで固定するときに、アンテナを急な角度に曲げたりしないでください。
- 長さがあまる場合には、束ねたり、曲がりくねらせた引き回しをせずに、フロントガラスの上辺に沿わせて横方向へ伸ばしてください。

取り付けかた

コードレールおよびコードクランパーで要所を固定しながら配線する。

■フロントガラス



■ダッシュボード



点検シールなどの上に重ねて貼らないでください。

セラミックラインから25mm以内

- 必ずフロントガラスに貼ってください。

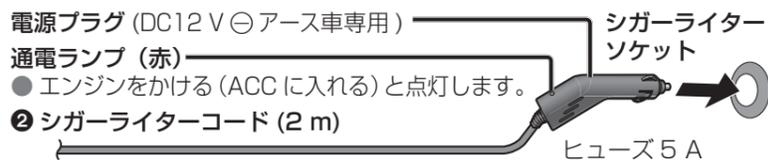
エアバッグの動作を妨げない場所に取り付けてください。

取付例

コーナーを固定してください。

⑤ コードクランパー要所を固定してください。

シガーライターコードを接続する



電源プラグ(DC12V ⊖ アース車専用) 通電ランプ(赤) シガーライターソケット

- エンジンがかかる(ACCに入れる)と点灯します。

② シガーライターコード(2m) ヒューズ5A

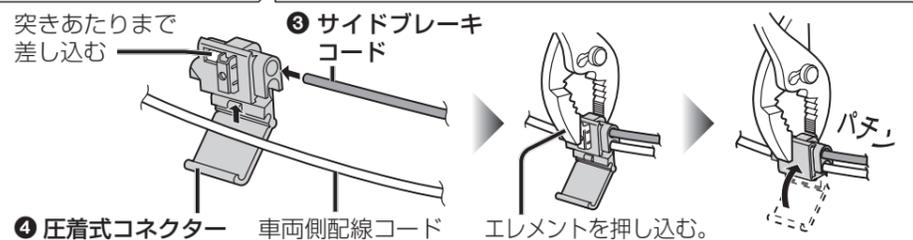
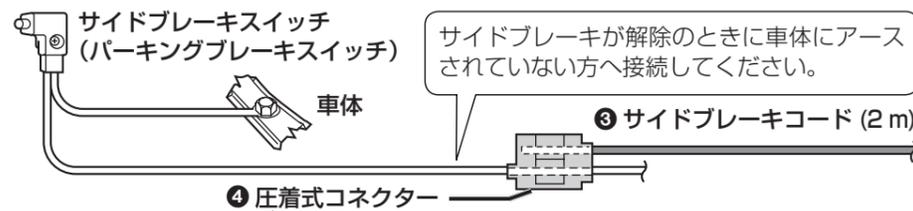
お願い

- 24V 車用 DC・DC コンバーターは使用しないでください。
- 電源プラグは、車のシガーライターソケットの奥までしっかりと差し込んでください。(接触不良の原因になる場合があります。)
- 一部の車種では、電源プラグを差し込む角度によって、接触不良を起こしたり、通電しなくなる場合があります。そのときは、シガーライターソケットの端子の位置を確認し、電源プラグを通電する角度に調整してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店にヒューズの交換を依頼してください。

サイドブレーキコードを接続する

ナビゲーションは、安全のため、走行中の操作を制限しています。サイドブレーキコードが正しく接続されていないと、停車中でも走行中と同様に操作が制限されます。

- サイドブレーキの仕様は車種によって異なります。詳しくは、お車のカーディーラーへご相談ください。



サイドブレーキの配線ができない場合は、ナビの設定で「走行/停止判定」を「自動」に変更することで、ご使用いただけます。設定の変更は、車載用スタンドに取り付ける前に行ってください。「自動」に設定した場合には、GPSの受信状況等によっては、走行中の操作やワンセグ視聴が可能になる場合がありますので、必ず安全な場所に停車させてご使用ください。詳しくは、ナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。